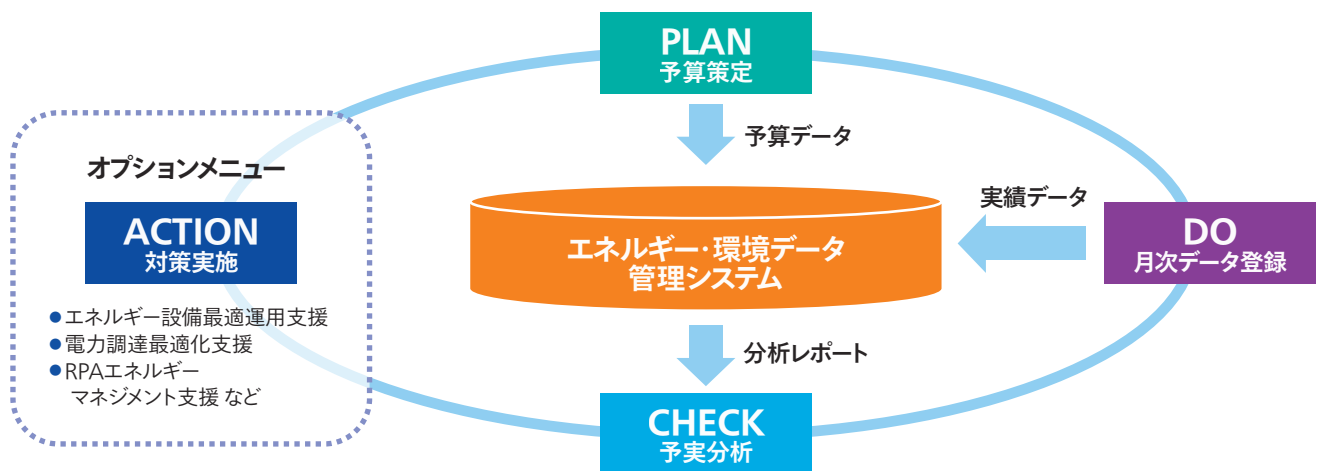


エネルギー・環境データ管理ソリューション

「RE100」に加盟する企業が世界的に増加するなどエネルギー分野に関する昨今の市場環境変化や、省エネ法や地方自治体条例等の法規制の強化、また企業価値評価の基準に「ESG」領域が追加されることにより、企業経営におけるエネルギー・環境管理の重要性は一段と高まっています。エネルギー・環境分野に関する経営課題に対応していくためには、エネルギー・環境マネジメントにおけるPDCAサイクルを構築し、企業全体でのエネルギー使用量・コストを一元的に把握するとともに、継続的に目標と進捗を分析し、外部への迅速な情報開示を行う必要があります。

サービス概要

アビームコンサルティングは、企業がエネルギー管理のPDCAを効率的かつ効果的に実施できるよう、エネルギーデータ管理システムをSaaSで提供し、予算策定・データ管理および予算分析業務を、アウトソーシングサービスとして一元的に支援します。



導入のメリット

データ管理システムを活用し一部の業務を専門コンサルタントにアウトソーシングすることにより、業務の効率化を実現するとともに、エネルギー管理業務のPDCAサイクルを確立することで省エネ・環境対策の推進が可能となります。



効率的なデータ
集計作業の実現

- エクセルシートによるデータ集計作業が不要となるため業務効率化が可能
請求書データの入力代行、各データのシステムによる集計
- 省エネ法定期報告書、東京都/大阪府など各種自治体条例対応レポート、CDP報告、GRESB報告など
さまざまな外部レポートの作成作業に対応



精緻な予実管理
プロセスの構築

- 変動要因別の予算設定プロセスの導入により予実乖離した原因の迅速な把握が可能
- 万一、大きく予実乖離した場合には期中の予算修正が可能



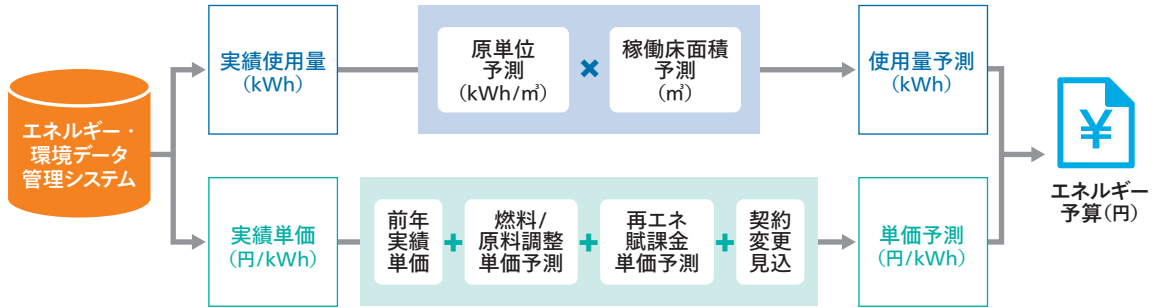
迅速な
改善対策の実施

- 毎月の予実分析による乖離原因の把握により、迅速な省エネ・コスト削減対策の実施が可能
原単位：運用・保守プロセスの見直し など
単 位：契約内容、メニューの見直し など

サービスの流れ

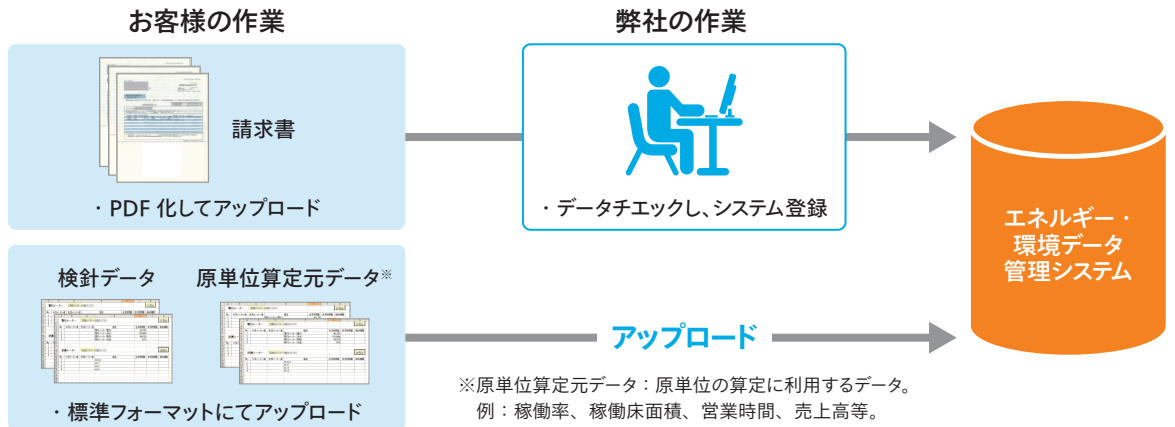
PLAN 予算策定

予算策定では、以下の考え方に基づいて単価予測と使用量予測をベースにしたエネルギー予算案を作成し、予算策定用のExcelシートをご提供します。
 使用量予測は、想定される原単位（単位あたりの使用量）と原単位算定元データ（床面積や生産量など）に基づいて設定します。単価予測は、電力や都市ガスの場合、前年実績に、今後の燃料価格と為替の予測を踏まえた燃料/原料調整費単価予測や再エネ賦課金単価予測、契約変更により変動などを考慮して設定します。



請求書データと検針データ、原単位算定元データを月次で登録します。請求書データに関しては、エネルギー会社からの請求書をアップロードいただき、アビームコンサルティングの入力代行担当者にてチェック・入力することで、正確に使用量・コストデータを登録します。

DO 月次データ登録

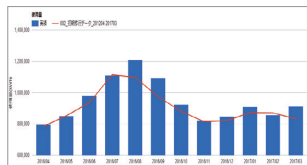


オンラインレポート

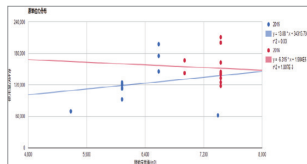
SaaS型プラットフォームのため、インターネット経由でどこからでも閲覧が可能です。

- 請求データ集計/照会
- 請求データ異常値管理
- 予実分析(使用量/コスト/CO2排出量)
- 傾向分析(使用量/コスト/CO2排出量)
- 原単位分析
- インターバルデータ分析(オプション) など

(例) 予実分析レポート



(例) 原単位分析レポート



月次報告レポート

毎月報告書を作成し、コンサルタントがお伺いして分析結果の報告と今後の方針についてアドバイスします。



外部レポート

各種外部レポートの作成に必要なデータをシステムから抽出し、所定のフォーマットにて提出します。

- 省エネ法定定期報告書
- 東京都/大阪府など各種自治体条例対応レポート
- GRESB報告※ など

※GRESB:グローバル不動産サステナビリティベンチマーク

CHECK 予実分析